

マテリアリティ

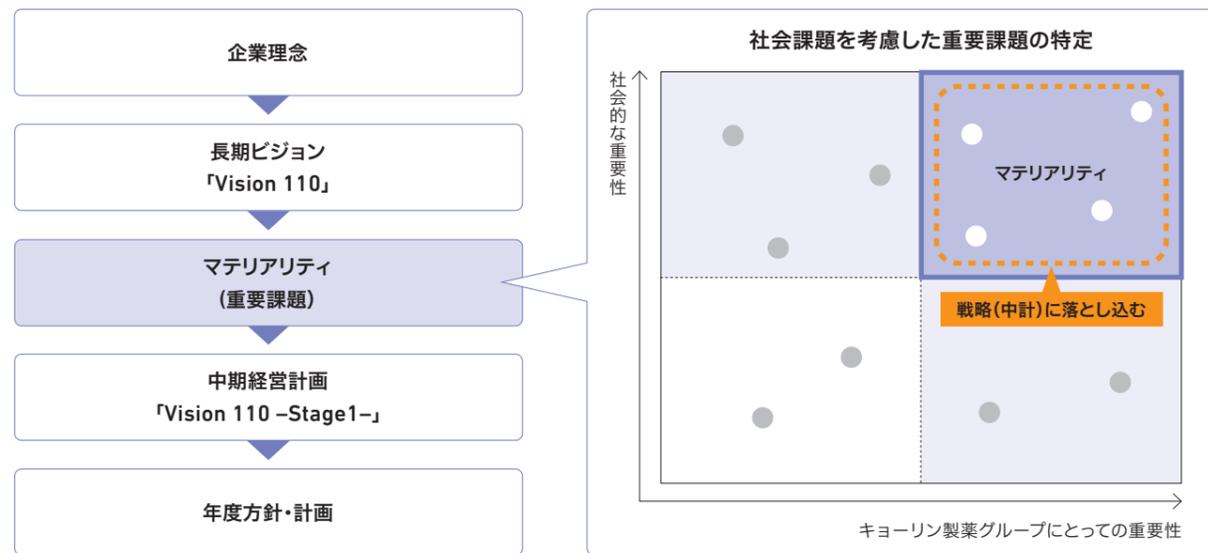
当社グループは、企業理念の具現に向けて策定した長期ビジョン「Vision 110」を実現するためには、社会的な価値と経済的な価値の創造が必要であり、企業の成長とともに持続可能な社会の実現に貢献することが重要と考えています。サステナビリティ課題への取り組みについては、制定した基本方針のもと、マテリアリティ(重要課題)を特定して適切な対応を行っています。

サステナビリティの基本方針

当社グループは、企業理念のもと、企業行動憲章に基づく事業活動を通じてサステナビリティ課題(社会と企業の持続的な発展)に積極的に対応することで、中長期的な企業価値の向上を図ります。

マテリアリティの特定

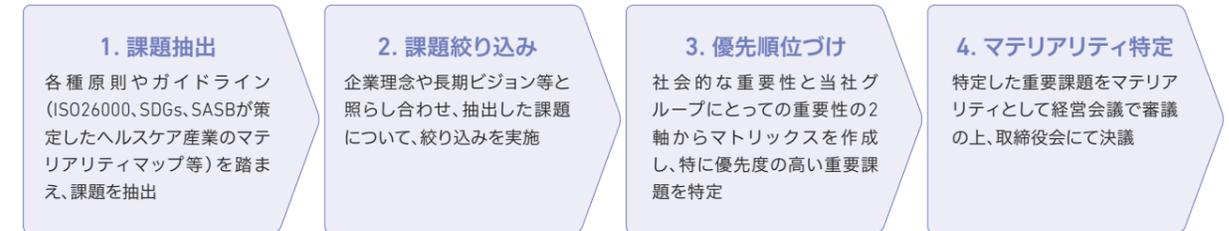
サステナビリティを巡る様々な課題の中から、社会的な重要性と当社グループにとっての重要性の2軸からマトリックスを作成し、特に優先度の高い重要課題の特定を行いました。長期ビジョン「Vision 110」において掲げる目指す姿の実現に向け、「価値創造(事業活動に直結する課題)」、「価値創造を支える基盤(事業活動の基盤に関わる課題)」の観点で優先的に取り組む重要課題(マテリアリティ)を10項目特定しました。



- | | |
|---------------------|--|
| 「価値創造」マテリアリティ | <ul style="list-style-type: none"> 医療ニーズに応える価値の高い製品の創出 製品価値の最大化 高品質な医薬品の安定供給 |
| 「価値創造を支える基盤」マテリアリティ | <ul style="list-style-type: none"> 人的資本の充実 多様な価値観を尊重した働き方改革の推進 健康経営の推進 環境に配慮した事業活動 コンプライアンスの徹底 コーポレート・ガバナンスの強化 ステークホルダーとの関係強化 |

マテリアリティの特定プロセス

将来にわたる環境展望・分析を踏まえ、各種原則やガイドラインを参照し、以下のプロセスにてマテリアリティの特定を行いました。なお環境変化や当社グループの事業活動、社会からの要請に応じて継続的に見直していきます。



マテリアリティ

マテリアリティ	KPI(～2025年度)	2023年度実績	関連するSDGs	
価値創造	医療ニーズに応える価値の高い製品の創出	<ul style="list-style-type: none"> 臨床開発マイルストーンパイプラインの相移行 導入件数累計 6件以上 	<ul style="list-style-type: none"> 相移行はないものの着実に進展 0件 	
	製品価値の最大化	<ul style="list-style-type: none"> 新薬比率 50%以上 主要品目の売上 560億円 	<ul style="list-style-type: none"> 47.4% 456億円 	
	高品質な医薬品の安定供給	<ul style="list-style-type: none"> 欠品発生件数 0件 製品回収件数 0件 高岡工場の計画通りの進捗(定性) 	<ul style="list-style-type: none"> 新薬0件、後発医薬品0件 新薬0件、後発医薬品1件 2024年4月稼働、計画通り進捗 	
企業理念	人的資本の充実	<ul style="list-style-type: none"> エンゲージメントサーベイ※主要スコア「働きがい」4.5以上 人事制度の適切な運用・改善(定性) 	<ul style="list-style-type: none"> 4.5 人事制度を改定、動画配信や研修により浸透を図った 	
	多様な価値観を尊重した働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> 女性管理職比率 10%以上 男性育休取得率 50%以上 障がい者雇用比率 法定雇用率以上 	<ul style="list-style-type: none"> 8.5% 38.6% 2.4% 	
	健康経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断受診率・ストレスチェック受検率 100% 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断:100%、ストレスチェック:97.5% 	
	環境に配慮した事業活動	<ul style="list-style-type: none"> CO₂排出量削減率 対2015年度比 20%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 25.5% 	
	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> 重大なコンプライアンス違反件数 0件 	<ul style="list-style-type: none"> 0件 	
	コーポレート・ガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> コーポレートガバナンス・コードへの適切な対応(定性) 	<ul style="list-style-type: none"> 東京証券取引所からの要請に適切に対応するため、コーポレート・ガバナンス報告書の見直しを実施(4月、6月、2月) 	
	ステークホルダーとの関係強化	<ul style="list-style-type: none"> 投資家とのエンゲージメント強化(定性) 	<ul style="list-style-type: none"> トップマネジメント参加によるミーティング、説明会、Web会見等により投資家との対話を実施 	

※社員の働きがいに関するアンケート(自社内で実施)。7段階評価の回答を最高点7として得点化